

【施策4】 学習を支える体制づくりと環境整備

これまでの成果

○生涯学習社会の実現に向けて、多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習（総合）センター、図書館、美術館、自然史・歴史博物館などにおける学習環境の整備を行うとともに、地域における学習の場として市民センターの学習機能の充実を図ってきました。

○また市民センターにおける生涯学習活動を支援するため、必要な助言・指導を行う社会教育主事・社会教育主事補を各区に配置するとともに、生涯学習を推進する職員等の研修の充実及び生涯学習推進コーディネーターの配置に取り組んできました。これにより、市民の自主的な活動や、区や地域における多彩な生涯学習関連事業が展開されてきています。

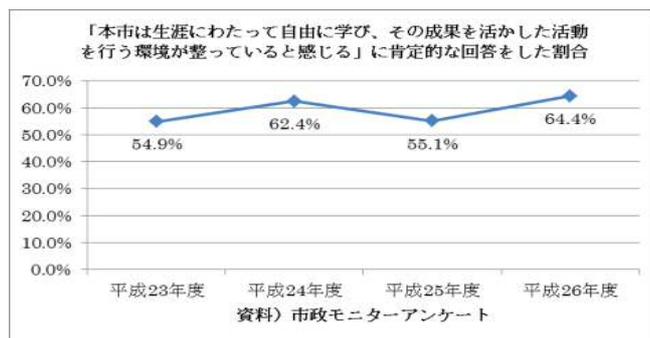
○新設又はリニューアルした施設

平成24年7月 八幡西図書館

平成25年4月 八幡西生涯学習総合センター

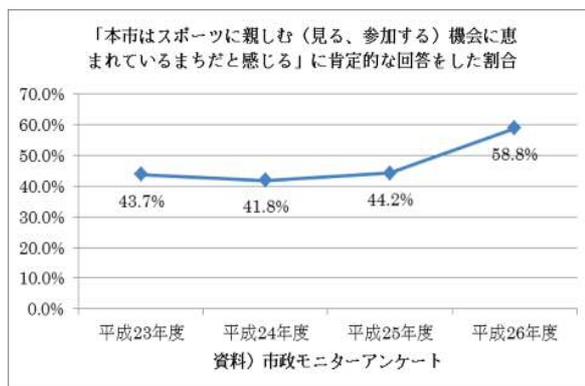
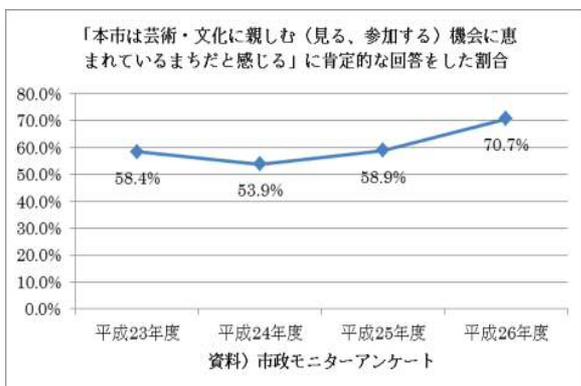
(北九州ひとみらいプレイス)

平成26年3月 戸畑図書館

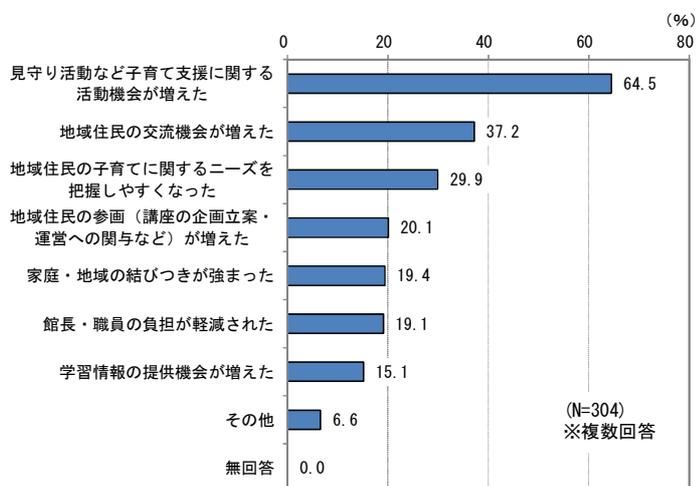


市民意識

- 本市は芸術・文化に親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じる」に肯定的な回答をした割合は増加傾向にあります。
- また、本市はスポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じる」に肯定的な回答をした割合も増加傾向にあります。
- 市民センターにおける生涯学習事業を支援するため、各館に生涯学習推進コーディネーターの配置を進めていますが、配置された市民センターでは、「学校、家庭、地域の結びつきが強まった」、「地域住民の交流機会が増えた」、「地域住民の講座企画への参画が増えた」など肯定的な意見が多く聞かれます。
- また、市民センターに子育てサポーターが登録されたことの効果として各市民センターから、「見守り活動など子育て支援に関する活動機会が増えた」、「地域住民の交流機会が増えた」、「地域住民の子育てに関するニーズを把握しやすくなった」といった声があります。



市民センターに子育てサポーターが登録されたことの効果



資料)平成 26 年度市民センター関係者アンケート

《 今後の課題 》

- 市民センター等での生涯学習事業の企画・運営への参画、地域住民からの学習相談への助言、館報作成等の広報活動を行う「生涯学習推進コーディネーター」の配置が6～7割程度で全館配置に至っていません。
- 高等教育機関や多様なNPO等との連携を一層進める必要があります。民間教育事業者を含めこれらを貴重な資源ととらえ、社会教育の推進、生涯学習社会の実現へと結びつける実効的な体制構築が求められます。
- 市民センターには地域の課題解決に資する講座等の実施が求められます。そのため、館長等の事業企画等のスキルアップを図る研修の充実が必要です。
- 本市は他都市と比べて多くの公共施設を保有しており、近い将来、施設の更新に多額の費用が必要になります。そのため真に必要な施設を整備する一方で、施設の廃止や複合化、多機能化などを検討する必要があります。